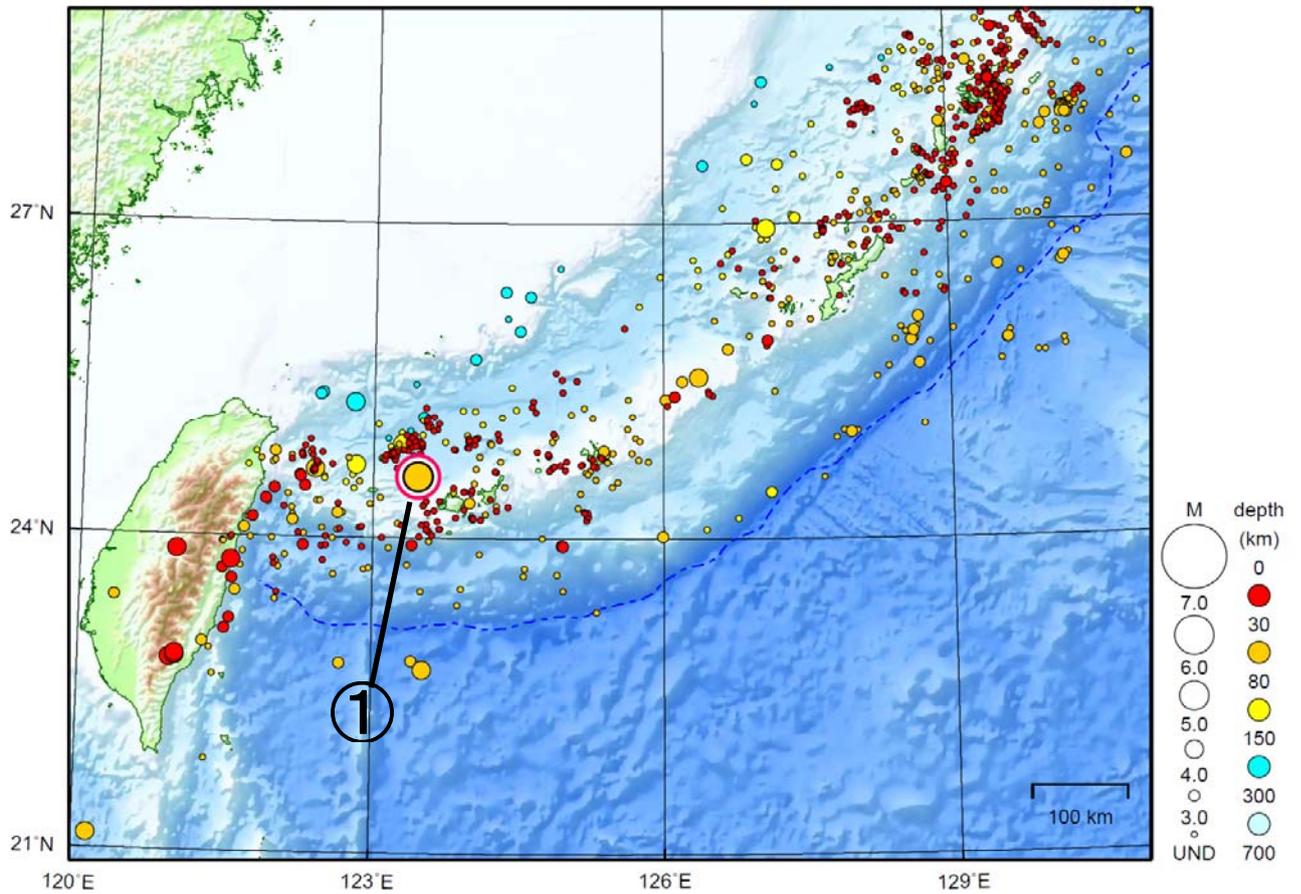


沖縄地方

2014/01/01 00:00 ~ 2014/01/31 24:00

N=1036



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 1月9日に西表島付近で M5.5 の地震（最大震度4）が発生した。

気象庁はこの地震に対して[石垣島近海]で情報発表した。

（上記期間外）

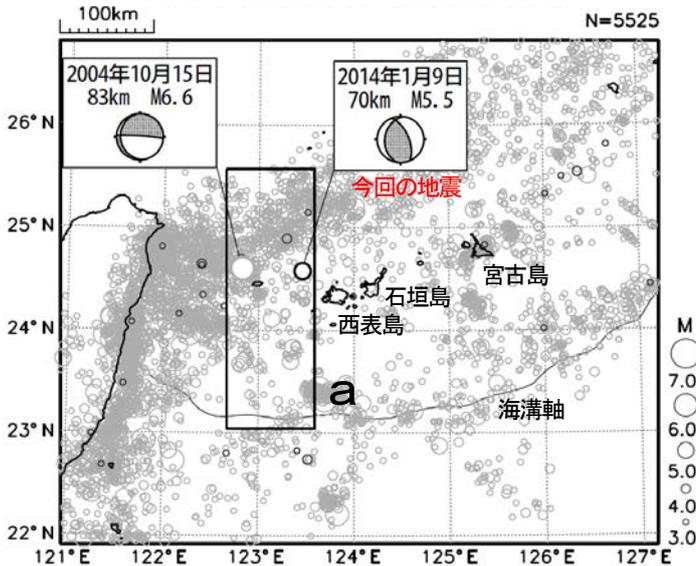
2月6日に宮古島近海で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

1月9日 西表島付近の地震

情報発表に用いた震央地名は〔石垣島近海〕である。

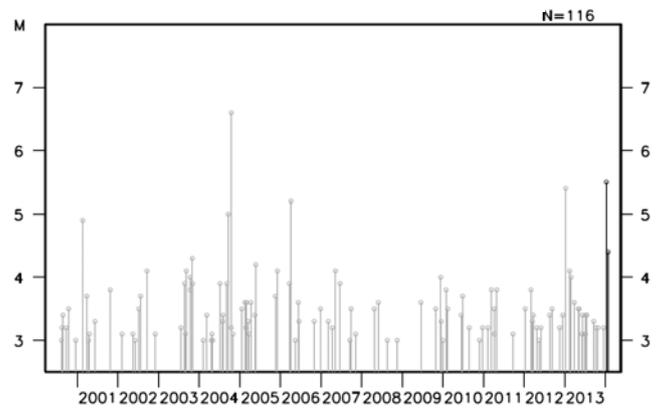
震央分布図
(2000年7月1日～2014年1月31日、
深さ30～200km、 $M \geq 3.0$)
2014年1月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



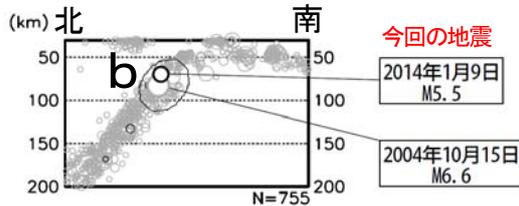
2014年1月9日03時15分に西表島付近（西表島の北西約40km）の深さ70kmで $M 5.5$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2004年10月15日に $M 6.6$ （最大震度5弱）の地震が発生している。

領域b内のM-T図

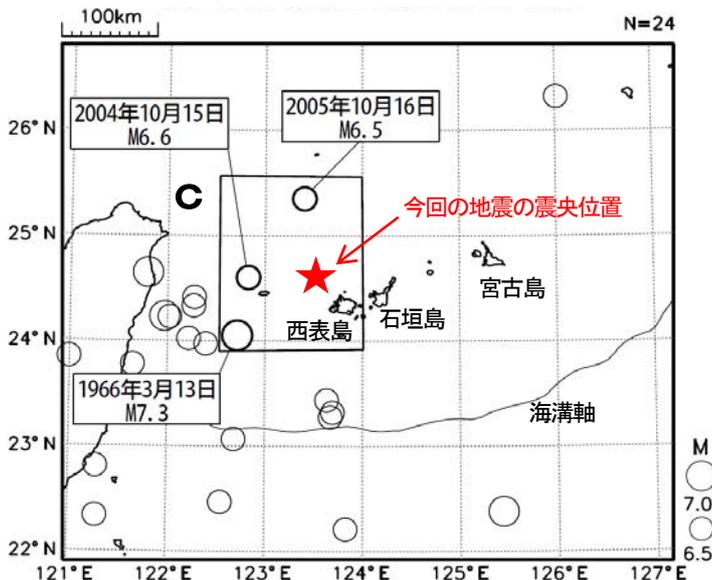


領域a内の断面図（南北投影）



1960年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1966年3月13日に $M 7.3$ の地震（最大震度5）が発生し、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟、半壊3棟などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
(1960年1月1日～2014年1月31日、
深さ30～200km、 $M \geq 6.5$)



領域c内のM-T図

